

令和 元 年度 指定管理者評価表

【別紙 5】

施設名： 河内長野市立障がい者福祉センター あかみね

指定管理者名： 社会福祉法人 河内長野市社会福祉協議会

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	S	S
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	S	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	S	S
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	S	S
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	S	S
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	S	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	S	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	S	S
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	S	S
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	A	A
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	S	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	S	S
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	S	S

評価欄の説明

S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。

A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。

B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。

C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 収支報告

単位:円

		事業計画 A	事業実績 B	A - B	前年度実績	備考
収 入	指定管理料収入	65,899,800	65,899,800	0	65,899,800	
	(市受託金収入)					
	障害福祉サービス等事業収入	29,766,000	27,195,972	2,570,028	27,760,092	
	生活介護授産収入	1,350,000	2,029,778	(679,778)	1,902,975	
	寄付金収入	0	30,000	(30,000)	30,000	
	その他収入	0	652,711	(652,711)	0	
	前年度繰越金	2,808,200	3,925,832	(1,117,632)	0	
収入総額		99,824,000	99,734,093	89,907	95,592,867	
支 出	人件費(職員人件費)	73,703,000	73,018,495	684,505	61,913,689	
	事務費支出	21,882,000	22,666,570	(784,570)	20,848,491	
	(業務委託・保守料等)					
	事業費支出	2,802,000	2,261,838	540,162	2,592,446	
	(医師派遣費等)					
	生活介護授産支出	1,350,000	1,783,190	(433,190)	1,877,129	
	(工賃、材料費等)					
	その他支出	87,000	4,000	83,000	50,000	
	(負担金支出)					
	当期繰越金(次年度繰越金)	0	0	0	8,281,112	
支出総額		99,824,000	99,734,093	89,907	95,562,867	0
収支差額		0	0	0	30,000	0

3. 総合評価

自己評価

[サービスの提供関係]

○ デイサービス事業では、年間に約60のクラブ・教室を開催しており、そうした中、アンケートの実施や利用者の声を聞くなどして、ニーズの把握や内容の改善に取り組みました。その障がい者のニーズに基づき、個々の状況に応じた対応やクラブ・教室のさらなる充実をボランティアとともに展開し、その中で一部のクラブでは当事者自ら、「あかみね」を貸室にて利用し、その活動を充実しておられ、地域の方々との交流や自立した支援へと継続的に展開している状況です。今後、地域での障がい者支援充実を図れる事業展開が達成できるよう検討したいと考えています。また、保護者で結成した「親の会」を定期的開催することで、子育て中の家族への精神的な支えを目的に講演会を開催し、社会的場面(対人関係、集団場面参加など)の改善や将来の自立に向けた支援の場を提供しました。さらに、週末事業を継続的に実施し、安心した生活が送れるような情報収集の場や生活相談の場となるような事業を展開しました。

[施設などの維持管理関係]

○ 施設整備についても、老朽化する施設や設備を市担当課と協議の上、計画的に管理を進め、随時修繕箇所を確認・修理し、利用者により良い環境下で安心して利用していただける場を提供しました。また、美化活動に力を入れ、かつ河内長野市公園緑化協会より毎年、花苗を配布していただき市内のセンターとして利用者とともに花を植えることの楽しさや明るく楽しい施設づくりや、当センターの利用者みんなが花を觀賞して楽しんでいただける環境や利用者が気持ちよく利用していただける施設整備の充実を図ることができました。

[労務状況]

○ 職員研修に対して、法人全体で研修計画を立て、職員のスキルアップための研修会などを積極的に行いました。

[危機管理]

○ 今年で4回目となる、あかみね「防災・避難訓練」(参加者:38人:障がい者福祉関係団体も含む、利用者および支援者)を市危機管理課と協賛で開催し、指定福祉避難所としての役割や障がい者および支援者の方々が日頃からの備えや災害に対する認識を高めるとともに、市担当課と協議を行い指定避難所設置運営マニュアルの作成や必要な物資・機材の調整などを行いました。
○ 緊急時に備えた訓練などを年2回実施し、緊急時の体制や対応マニュアルを職員や利用者とともに共有しました。また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練なども行い、利用者が安心して利用できるよう取り組みました。

[個人情報]

○ 法人として制定している個人情報に関する方針(プライバシーポリシー)を職員研修などで随時確認し、個人情報の取り扱いに関する意識啓発および管理体制に取り組みました。

[財務状況]

○ 簿外処理における不正を防ぐため、令和元年10月より経理処理に取り組んでいます。引き続き、適正な経理処理に行います。

[次年度実施する事業]

○ 高齢化する障がい者などや新規利用者が安心して利用できる共生型生活介護事業(通所介護)の事業運営を行います。
○ 在宅障がい者の緊急時に対応できる体制が必要性的について、検討します。

市評価

協定書、仕様書、事業計画書に沿った管理運営を必要に応じて、市と協議を行いながら実施した。
事業においては、イベントなどの機会をとらえて実施したアンケート調査により、ニーズ把握を行ない事業展開を進めている。その中で既存事業の見直し・拡大、障がい者の自立に向けた取り組みを積極的に行い、だれもが社会参加しやすい人づくりを行った結果、障がい者の自助グループへの発展や新たな事業の創出および総合的な生活支援の拡充へと事業展開することができている。
施設などの維持管理について、老朽化した施設を随時協議しながら修繕し、利用者が安心して利用できる施設環境整備に努め、施設を維持することができた。また、施設の美化活動に力を入れ、コスト削減を意識した職員による清掃や整理整頓を行っている。
ただ、清掃や職員の休暇取得など、一部改善が必要なところがあったものの、総合評価として、前年同様、適正に事業実施できていると認められる。